



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマタネ

コード番号 9305 URL <http://www.yamatane.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永友 保則

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部門担当 (氏名) 安斉 正美

TEL 03-3820-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	25,599	△2.0	1,845	18.6	1,289	35.0	516	338.1
23年3月期第2四半期	26,124	△2.4	1,556	△8.8	955	△9.6	117	△72.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 398百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △210百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.86	—
23年3月期第2四半期	1.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	85,169	20,922	22.3	178.81
23年3月期	85,715	20,866	22.1	178.28

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 19,005百万円 23年3月期 18,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	3.7	3,700	8.3	2,600	16.0	1,250	66.6	11.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	113,441,816 株	23年3月期	113,441,816 株
24年3月期2Q	7,152,899 株	23年3月期	7,150,494 株
24年3月期2Q	106,290,073 株	23年3月期2Q	106,296,237 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①当第2四半期の概況

当第2四半期の経営成績は、物流部門が堅調に推移しましたが、その他の部門では減収となり、売上高は255億99百万円（前年同期比2.0%減）となりました。営業利益は、物流部門が回復傾向となり、また食品部門も堅調に推移したことに加え、金融・証券部門の赤字幅が縮小したことから18億45百万円（同18.6%増）となりました。経常利益は、支払利息の減少もあり12億89百万円（同35.0%増）となりました。四半期純利益は、前年同期に計上した固定資産除却損2億72百万円や減損損失1億30百万円等の特別損失の減少により5億16百万円（同338.1%増）となりました。

②セグメント別の概況

<物流部門>

物流部門では、東日本大震災の影響により停滞していた荷動きが活発化したことにより、家電・飲料を中心に取扱いが増加し、さらに国際輸送や国内配送が堅調に推移したことから、売上高は96億89百万円（前年同期比8.8%増）となり、営業利益は13億59百万円（同20.4%増）となりました。

<食品部門>

食品部門では、量販・外食向けである精米販売は、震災後の混乱の影響から36千玄米トン（前年同期比5.9%減）と減少しましたが、一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売は18千玄米トン（同13.8%増）と前年同期を上回り、総販売数量は55千玄米トン（同0.1%減）となりました。売上高は販売単価の低下により134億26百万円（前年同期比6.4%減）となりましたが、営業利益は需要動向に合わせた販売と在庫管理の徹底に努めた結果2億36百万円（同42.9%増）と堅調に推移いたしました。

<情報部門>

情報部門では、震災により顧客の開発案件が延期となり、また棚卸用ハンディターミナルのレンタル業務及び棚卸代行業務においては顧客の棚卸回数が減少したこと等から、売上高は8億5百万円（前年同期比13.9%減）となり、営業利益は2百万円（同98.0%減）となりました。

<不動産部門>

不動産部門では、一部テナントの解約の影響や賃料水準の引下げ等により、売上高は14億86百万円（前年同期比7.1%減）となり、営業利益は6億42百万円（同9.9%減）となりました。

<金融・証券部門>

金融・証券部門では、証券市場における市況低迷と金融(商品先物)部門の事業撤退との影響により、売上高は1億92百万円（前年同期比42.4%減）となり、営業損益は前年同期に比べ改善したものの1億38百万円の損失（前年同期は3億1百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

資産合計は、「ヤマタネビル新館」建設に伴う建設仮勘定の増加等により有形固定資産が増加しましたが、現金及び預金や営業未収金、たな卸資産等の流動資産が減少したこと等により、前連結会計年度末比5億45百万円減少し、851億69百万円となりました。

②負債

負債合計は、有利子負債が減少したこと等から、前連結会計年度末比6億2百万円減少し、642億47百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、その他有価証券評価差額金は減少しましたが、利益剰余金が増加したこと等から、前連結会計年度末比56百万円増加し、209億22百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し業績予想の見直しを行った結果、平成23年5月13日発表の通期の連結業績予想並びに個別業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日(平成23年11月4日)公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,890	1,945
受取手形及び売掛金	6,222	5,988
たな卸資産	923	787
その他	1,836	1,792
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	11,865	10,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,126	12,710
土地	46,494	46,494
その他(純額)	6,453	7,830
有形固定資産合計	66,074	67,036
無形固定資産		
投資その他の資産	1,154	1,264
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,324	6,097
貸倒引当金	△97	△84
投資その他の資産合計	6,226	6,012
固定資産合計	73,455	74,312
繰延資産	394	348
資産合計	85,715	85,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,040	1,786
短期借入金	8,050	8,904
1年内返済予定の長期借入金	7,159	7,699
1年内償還予定の社債	1,537	1,743
災害損失引当金	72	2
その他	2,286	2,554
流動負債合計	21,146	22,688
固定負債		
社債	20,106	19,187
長期借入金	9,723	8,308
退職給付引当金	1,860	1,812
役員退職慰労引当金	155	139
環境対策引当金	121	121
その他	11,731	11,986
固定負債合計	43,699	41,556
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	3	1
特別法上の準備金合計	3	1
負債合計	64,849	64,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,775	3,775
利益剰余金	4,362	4,613
自己株式	△1,809	△1,810
株主資本合計	16,883	17,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	682	488
土地再評価差額金	1,382	1,382
その他の包括利益累計額合計	2,065	1,870
少数株主持分	1,916	1,917
純資産合計	20,866	20,922
負債純資産合計	85,715	85,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	26,124	25,599
営業原価	22,622	22,068
営業総利益	3,501	3,531
販売費及び一般管理費	1,944	1,685
営業利益	1,556	1,845
営業外収益		
受取配当金	51	52
その他	25	20
営業外収益合計	76	72
営業外費用		
支払利息	633	572
その他	44	55
営業外費用合計	678	628
経常利益	955	1,289
特別利益		
固定資産売却益	0	5
金融商品取引責任準備金戻入	1	1
商品取引責任準備金戻入額	64	—
退職給付制度終了益	19	—
災害損失引当金戻入額	—	11
未払費用戻入額	—	7
その他	7	—
特別利益合計	93	25
特別損失		
固定資産除却損	272	2
減損損失	130	6
特別退職金	—	15
その他	88	0
特別損失合計	491	25
税金等調整前四半期純利益	556	1,289
法人税等	372	663
少数株主損益調整前四半期純利益	184	626
少数株主利益	66	110
四半期純利益	117	516

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	184	626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△395	△228
その他の包括利益合計	△395	△228
四半期包括利益	△210	398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△254	321
少数株主に係る四半期包括利益	43	76

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連	金融・証券 関連			
売上高								
外部顧客への 売上高	8,903	14,351	936	1,599	333	26,124	—	26,124
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	306	—	98	42	0	447	△447	—
計	9,209	14,351	1,035	1,641	333	26,571	△447	26,124
セグメント利益 又は損失(△)	1,128	165	100	712	△301	1,806	△249	1,556

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△256百万円及び未実現利益調整額6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産関連」セグメントにおいて、賃貸用不動産の売買契約締結に伴い、事業の用に供されなくなるが見込まれるため当該資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、130百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連	金融・証券 関連			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,689	13,426	805	1,486	192	25,599	—	25,599
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	301	—	96	13	0	412	△412	—
計	9,991	13,426	902	1,500	192	26,012	△412	25,599
セグメント利益 又は損失(△)	1,359	236	2	642	△138	2,102	△256	1,845

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△263百万円及び未実現利益調整額6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物流関連」セグメントにおいて、立体駐車場の解体撤去工事の決定に伴い、事業の用に供されなくなるが見込まれるため当該資産について帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、6百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。